

令和5年3月10日

マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594
FAX:097-554-4049

第144号

令和5年1月分交付金概算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和5年1月分の交付金概算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

また、1月分の公表された交付金単価は、肉専用種55,786.7円、交雑種8,301.8円、乳用種38,878.4円の交付となります。

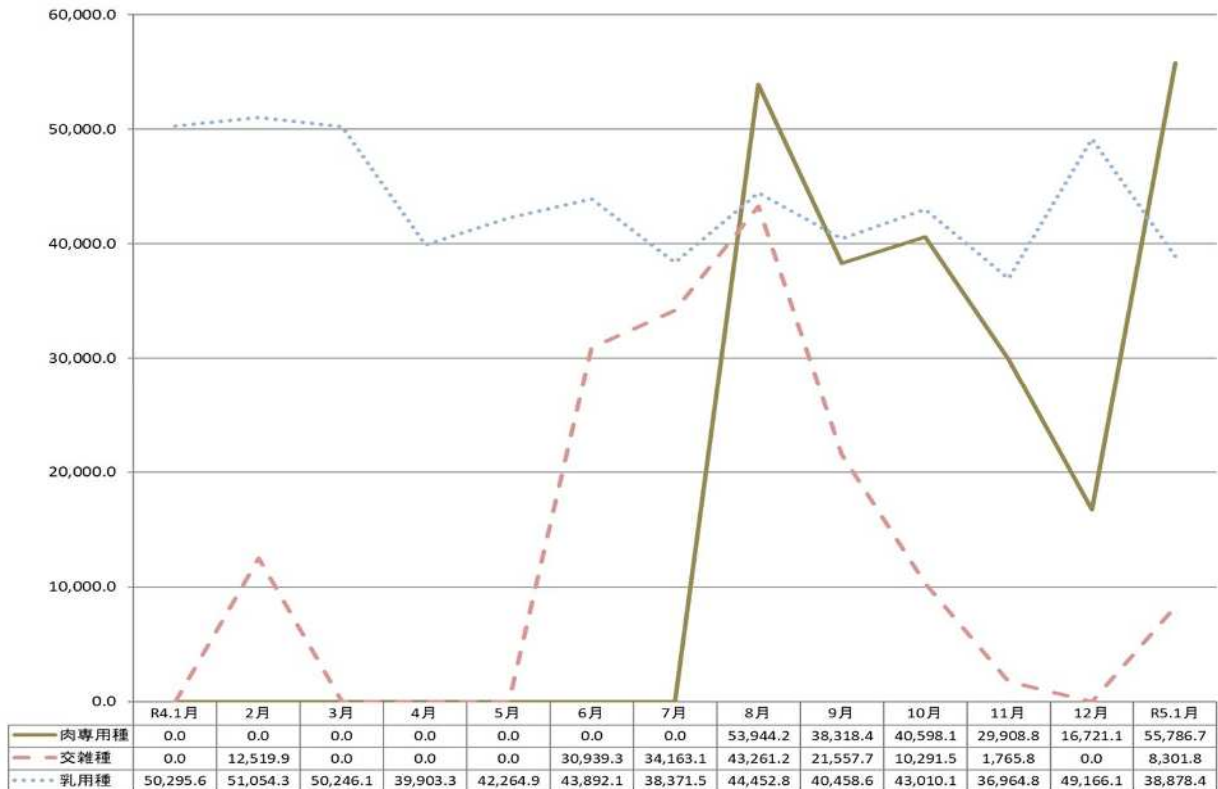
詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和5年1月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

トピックス

- 令和5年1月分の単価(概算払)が公表されました。
- 1月分の交付金交付は、3月29日(水)を予定しております。

交付金交付状況

単位:円



牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

★畜産物の市況展望【牛肉】

2月の牛枝肉価格は、前月に引き続き低調だった。中旬にかけてホテル、レストランが動き始めて荷動きは良化したものの、冷凍物の投げが散見され、相場が戻るような勢いはみられず和牛はとくに弱かった。

1月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前月比153円安の2,579円（前年同月比60円安）、同A4は110円安の2,307円（同52円安）、同A3は29円高の2,105円（同46円安）、A2は151円高の1,797円（同139円安）といずれも前年実績を下回った。交雑牛はB4が232円安の1,662円（同38円高）、B3は125円安の1,482円（同4円高）、同B2は16円高の1,305円（同24円安）。過熱していた4等級もようやく落ち着きを取り戻し、3等級も連動して下げた。

年末年始に外食や旅行業界が活気を取り戻し消費は前年に比べ好調だったが、年明けは一気に財布の紐が硬くなった。インフレが消費者心理に重くのしかかり、嗜好品である牛肉はメリハリ消費の象徴で家庭の登場頻度は減少した。外食で食べまわる動きが進んでいるほか、ふるさと納税の返礼品として牛肉を調達するようになった。2月も好材料は少なく静かにスタート。その後、インバウンドが回復してきたことでホテルや外食の発注は好転してきた。宴会需要は価格重視で乳去勢のヒレに引き合いがあるが、供給不足で高値に貼り付いている。品種に問わずヒレのみに需要が偏重し、ロースは荷重感が強い。

量販店の決算セールなどで多少は動きが期待されるが、3月も節約ムードが緩むことは考えにくく気温が本格的に上がり始める4月まで厳しい環境が続くとの見方が支配的。和牛去A5で2,500円絡み、A4で2,250円前後、A3で2,000円。交雑種は去勢B4で1,550円、B3で1,350円。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌 3月号 抜粋）